

平成２１年度第２回社会教育委員会議（要録）							
開催日	平成２１年７月１６日（木）			開会時間	１３時３０分		
会 場	市役所４階　４０４会議室			閉会時間	１４時５５分		
委員の 出欠状況	石川　孝雄	欠	川窪　昌芳	欠	◎大谷　鐵子	出	
	横　溝　　健	出	中尾　真弓	出	勝又　眞紀	出	
	秋葉真佐子	出	内山　昌明	出	藤田志津子	出	
	○鳥飼八五良	出	伊藤　芳夫	欠			
	村山喜三江	出	小林　貴博	出			
	北原　節子	出	井上　真弓	出	◎議長　○副議長		
傍聴者	０名						
事務局	【教　育　委　員　会】大久保教育長、田中部長 【生　涯　学　習　課】富岡次長兼課長、星野主幹兼課長補佐、中田統括主査、 永堀社会教育指導員、下村主事、谷保主事 【スポーツ青少年課】富澤課長						
議　題	・ 委員委嘱式 ・ 教育長あいさつ ・ 委員自己紹介 ・ 職員自己紹介 ・ 議長、副議長の選出について ・ 議事 １　平成２１年度社会教育関係団体への補助金交付について ２　図書館協議会委員等の選出について ３　特別テーマ「和光市放課後子ども教室の報告と課題」について ・ その他						

■ 開 会

1 委員委嘱式

平成21年6月30日で前委員の任期が切れたことにより、団体からの推薦委員、公募委員を合わせて、15名の委員へ教育長から委嘱書の交付を行った。

2 教育長あいさつ

- ・ 今回は、15名中9名が新委員となっている。

- ・ 社会教育委員は、社会教育法を根拠としている。
- ・ 今回の会議も社会教育法に基づき、会議の開催、委員の委嘱、社会教育関係団体に対する補助金交付の際の意見聴取などを行うことになる。
- ・ 社会教育委員の役割は、会議の場で、意見を述べることに非常に大きなウェイトがあると考えするため、活発に議論をしていただき、社会教育の充実に力を貸していただきたい。

3 委員の自己紹介

⇒各委員の自己紹介を行った。＜１５名＞

4 職員の自己紹介

⇒事務局職員の自己紹介を行った。

5 議長、副議長の選出について

会議に先立ち、社会教育委員の会議規程第４条により、委員から互選により議長、副議長の選出。

⇒ 互選意見なしのため、以下の事務局案の提示。

【事務局案】

- ◎ 議 長：大谷 鐵子委員（前回まで副議長）
 - ◎ 副議長：鳥飼八五良委員（文化団体連合会からの選出）
- ⇒ 異議なしのため、議長、副議長の決定。

○ 議長あいさつ

○ 副議長あいさつ

6 【議事１】平成２１年度社会教育関係団体への補助金交付について

資料に基づき、事務局より、社会教育関係団体への補助金交付について説明。

（議 長）事務局説明を受けて、質問や意見などはあるか。

（委 員）それぞれの補助金の主な使用用途について教えていただきたい。

（事務局）各団体ともに、事業運営のための活動費としての補助金交付となっている。

7 【議事２】図書館協議会委員等の選出について

＜和光市図書館協議会委員＞

（事 務 局）任期が今月末の７月３１日までとなっている。社会教育委員から１名の選出枠があるの

で、現行委員の井上真弓委員に引き続きお願いしてもよろしいか。

（委員一同）異議なし。

＜和光市社会福祉協議会理事＞

（事務局）社協の理事についても社会教育委員から1名の選出枠があるので、現行委員の村山喜三江委員に引き続きお願いしてもよろしいか。

（委員一同）異議なし。

＜和光市社会福祉協議会評議員＞

（事務局）社協の評議員についても社会教育委員から1名の選出枠があるが、当社会教育委員であった川崎みち子氏が委員辞退のため、今回、新体制の中から選出を行いたい。自薦・他薦あるか。

（議長）評議員の活動内容や役割などを事務局から説明をお願いしたい。

（事務局）評議員の会議については、年2～3回で、総会や事業計画の作成時などに会議出席をすることになる。活動については、平日になる。

（議長）委員の中から、勝又委員をお願いしたいという声があるが、いかがか。

（勝又委員）了承。

【決定した各委員】

- | | |
|-----------------|-------------|
| ◎ 和光市図書館協議会委員 | ⇒ 井上 真弓 委員 |
| ◎ 和光市社会福祉協議会理事 | ⇒ 村山 喜三江 委員 |
| ◎ 和光市社会福祉協議会評議員 | ⇒ 勝又 真紀 委員 |

8【議事3】特別テーマ「和光市放課後子ども教室の報告と課題」について

⇒ 資料に基づき、事務局より説明。

課題として、「会場の不足」、「地域ボランティアの不足」が挙げられるが、子どもと大人の交流をテーマに、「地域の大人と交流を深めるためには」どうしたらいいか、委員の皆さんにご意見を伺いたい。

（委員）大人との交流というのは、父兄のことなのか、地域一般の大人のことなのか。

（事務局）安全管理員については、父兄をお願いしているところである。指導者（学習アドバイザー）については、地域一般の方をお願いをしたいと考えている。地域の大人にご協力いただき、地域ぐるみで子どもを育てていければと考えている。

（委員）現状で、学校の中に地域の大人が入っていくのは難しい。学校の校長先生をはじめ、その他先生方から投げかけていただいたほうが、地域の方も参加しやすいのではないか。

- (事務局) 放課後子ども教室の啓発としては、全児童に教室だよりを配布している。
- (委員) 子どもたちへのPRは充実している。ただ、一般の大人へはPR不足なのではないか。放課後子ども教室の事業の周知からはじめることが大事である。異年齢（特に高齢者）の方の指導で、マナーなどのしきたりを教えてもらうのもいいのではないか。現状では、子ども教室については、一般の方の関心が薄いのが現実である。
- (委員) 所属する自治会としても、学校からの要請があれば、ぜひ参加したい。また、充実した内容にするためには、色んな団体の協力も必要であるとする。
- (委員) 他市の状況などで、市民活動団体が子ども教室に関わっている例はあるのか。以前に聞いた話によると、民家園で実施していて好評だったというのを耳にしたことがある。現状と今後の方向性について、お伺いしたい。
- (事務局) 他市の例で、市民活動団体が子ども教室に関わっているということは聞いたことがないが、民家園では、NPOではないが、古民家愛好会の方々にご協力いただいて子ども教室を実施していた。現時点では、子ども教室のNPOへの委託は考えていないが、真の姿の地域コミュニティ形成を考え、学校と地域の活性化も含め、事業を推進していきたいと考えている。
- (委員) 夏休みの行事として、高齢者の会で児童とのふれあい教室を実施している。子ども教室のボランティア募集方法はどのようになっているのか。色々な技術を持った高齢者がいるが、募集の広報が不足しているように思える。
- (事務局) スタッフ募集のチラシの作成はしているが、周知が足りないことについて、了承した。
- (委員) 高齢者団体に声かけしてみるのもいいかもしれない。
- (委員) 子ども教室の運営委員会、実行委員会のメンバーはどのようになっているのか。
- (事務局) 運営委員会は、当委員の村山委員を委員長に、関係各団体の委員、社協、コーディネーター等の14名で構成している。実行委員会は、教頭、保育クラブの主任指導員、PTA、生涯学習課から構成し、子ども教室の実施会場8ヶ所で開催している。実行委員会では、事業の決定などを協議している。
- (委員) 公民館で実施している通学合宿は、子ども教室の一環なのか。
- (事務局) 通学合宿は、公民館主催事業で、子ども教室とは別の事業である。
- (委員) その他の内容になってしまうかもしれないが、小学校で保護者会も兼ねて和光音頭を親も習った。地域の和光音頭をよく知る人に、子どもたちが教わる場や和光音頭を継承していく仕組みづくりなどを設けてほしい。
- (議長) 和光音頭を地域のものとして大切にしていきたいとの意見であると思うが、対応については事務局で検討をお願いしたい。

9 その他

⇒（事務局）会議の報酬支払い手続きに必要なため、「源泉徴収票作成に伴う受給者個人登録票」の提出をお願いしたい。既に登録されている方は必要ない。また、次回の会議（第3回）については、来年2月頃を予定している。第3回も特別テーマを設ける予定である。詳細が決まり次第、またご連絡するので、よろしくお願いしたい。

■ 閉会